

2017年9月7日

報道関係者各位

株式会社電算システム
(東証第一部/名証第一部:3630)

スマートフォンを活用した新しいコンビニ決済サービスの提供を開始 ～電子バーコードによる決済アプリで簡単にコンビニでお支払い～

株式会社電算システム（本社：岐阜県岐阜市、代表取締役社長執行役員 COO：田中 靖哲、以下「電算システム」）は、株式会社ブリースコーポレーション（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：佐藤 洋史 以下、「brees」）と連携し、brees が提供するスマートフォンに電子バーコードを表示させコンビニレジで簡単に決済ができる「PAYSLE（ペイスル）」（注1）を利用した新しいコンビニ決済サービスを、2017年9月15日に全国のミニストップ株式会社（代表取締役社長：藤本 明裕）から開始いたします。さらに9月末には株式会社セコマ（代表取締役社長：丸谷 智保）の一部の店舗（セイコーマート）でも開始予定となっております。

電算システムはコンビニ決済サービスをいち早く一般事業者へ提供したパイオニアであり、昨年実績では請求事業者約4,500社の1億6千7百万件に上る払込票でのコンビニ決済サービスの取扱いをしております。現在ではこの払込票によるコンビニ決済サービスは最もポピュラーな支払方法の一つとして浸透しており、多くの情報が紙からWEBに移行する時代においてもコンビニ決済は紙が主流です。このコンビニエンスストア（以下、コンビニ）の窓口で支払う利便性や、浸透性といった利点を生かしつつ、スマートフォンの普及を背景に、紙に印刷されたバーコードから、デジタル化された電子バーコードを用いた新しいコンビニ決済サービスにおいて、電算システムは素早く請求事業者へ提供してまいります。

1. 新サービスの概要

スマートフォンアプリ「PAYSLE」を利用した新しいコンビニ決済サービスは、コンビニで公共料金や通信販売の代金等の現金支払いの際に用いる紙の払込票に記載されたバーコードを、新技術（注2）を活用してスマートフォンの画面上に表示し、コンビニの店頭で決済を実現するものです。

従来、コンビニの店頭レジで支払う際、請求事業者から郵送される払込票やコンビニ店内のキオスク端末（注3）で発行した払込票の提示が必要でした。新サービスでは、利用者が予めスマートフォンにインストールしている「PAYSLE」により表示される電子バーコードを提示し、これをコンビニ店頭レジのスキヤナで読み取ることで、現金支払いが可能となります。

これにより、利用者の利便性向上や、請求事業者の払込票発行・郵送コストの削減、コンビニの店頭・管理業務の効率化など、これまでのコンビニ決済サービスの利便性・効率性をさらに高めた新しい決済サービスとなっております。

2. 新サービスのメリット

<利用者のメリット>

- スマートフォンでいつでもすぐにお支払いができます。
- 支払期限をスマートフォンにプッシュ通知でお知らせするので、払い忘れを防げます。
- コンビニレジで提示するだけで簡単にお支払いができます。

<請求事業者のメリット>

- 決済手段の拡充によるお客様の利便性向上につながります。
- 払込票の印刷や発送コストの軽減ができます。
- 紙を使わないことによる環境への配慮とエコ企業としての貢献ができます。
- システムに請求情報を登録するだけですぐにスマートフォンアプリ上にバーコードの表示が可能です。これにより請求～入金サイクルの短縮化も図れます。

<コンビニエンスストアのメリット>

- 払込票控えの管理コストと紛失リスクが低減されます。
- 店舗業務の軽減、効率化が図れます。
- レジ時間の短縮による顧客回転数の向上が図れます。

3. 今後の展開

今回の「PAYSLE」アプリを利用した新サービスの展開において、上記のミニストップ株式会社、株式会社セコマの他、株式会社ローソン（代表取締役社長：竹増 貞信）が2018年上期に取扱い開始を予定、その他の大手コンビニでも2018年中の開始を予定しているなど、取扱いができるコンビニを順次拡大してまいります。また、請求事業者に向けた営業活動は既存の払込票サービスユーザーだけでなく、ペーパーレスサービスユーザーや新規ユーザーに対しても積極的に電子バーコードを活用した本サービスを提案してまいります。

4. 電算システムの取り組み

電算システムは上記の他にもすでに、いくつかのスマートフォンを活用した決済サービスの提供を開始しており、総合決済サービスプロバイダとして、社会の動向をいち早くキャッチし、利用者のさらなる利便性をめざして、決済サービスの多様化と充実化に積極的に取り組んでまいります。

(注1)「PAYSLE」は、株式会社ブリースコーポレーションが提供するコンビニ収納サービススマートフォンアプリです。

※株式会社ブリースコーポレーションの概要

名称 : 株式会社ブリースコーポレーション(brees)
所在地 : 東京都渋谷区
設立日 : 2014年12月5日
事業内容 : 決済プラットフォーム事業
企業サイト : <http://www.brees.co.jp/>
資本金 : 9億8千万円(含む資本準備金)
代表者 : 佐藤 洋史

(注2) スマートフォンの画面上に表示するバーコード。従来の技術では、一次元バーコードをスマートフォンの画面上に表示すると POS スキャナで読み取れないという課題がありました。

(注3) コンビニ等の店舗内に設置されている、情報通信端末。略称 MMK 端末。

■電算システムについて

電算システムは1967年(昭和42年)に岐阜県で創業し、独立系総合型情報処理サービス企業として、情報サービス事業と収納代行サービス事業を展開しております。

情報サービス事業はさらに、①ソフト開発とシステム環境の構築までを行うシステムインテグレーション②データ処理や各種帳票の発行の運用等を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業とデータセンター事業を行う情報処理サービス③アプリケーションソフトやシステム機器・サプライ用品の販売を行う商品販売の3つのサービスで構成されております。

収納代行サービス事業は、1997年(平成9年)に民間企業初のコンビニ収納代行サービスを開始してより、総合決済サービスプロバイダとして決済サービスと国内外の送金サービスを提供しております。

現在はデータセンターを中心にしたクラウドサービス事業を3つめの主要事業にすべく、積極的に取り組んでおります。

詳細については電算システムのホームページ (<http://www.densan-s.co.jp/>) をご覧ください。

本リリースに関する問い合わせ先

＜報道関係者様からのお問合せ先＞

株式会社電算システム
総務部 後藤
電話:058-279-3456
E-mail: kikaku@po.densan-s.co.jp

＜製品・サービスに関するお問合せ先＞

株式会社電算システム
決済サービス事業部
電話:058-279-3482
E-mail: ec-tokyo@densan-s.co.jp

